

令和 元 年度

クリーニング師学科試験問題

受 験 番 号	
------------	--

指示があるまで開いてはいけません

—— 注 意 事 項 ——

- 1 この問題用紙には、衛生法規に関する知識、公衆衛生に関する知識、洗濯物の処理に関する知識の3科目の問題がとじ込んであります。3科目の試験時間は1時間30分です。
- 2 問題用紙は切り離さないで下さい。
- 3 答は問題用紙に明瞭に記入して下さい。
- 4 試験中は他の受験者に迷惑を及ぼす行為（話しかける、席を外す等）をしないこと。
- 5 試験中は受験票を試験官の見やすい場所に置くこと。
- 6 答案を早めに提出した者は、他の受験者の迷惑にならないように試験場外にでること。
- 7 質問があるとき、また退出するときは、手をあげて試験官の来るのを待つこと。
- 8 試験開始後30分間は退場を認めないので注意すること。
- 9 一度退場したら再入場を認めないので注意すること。

沖 縄 県

令和元年度クリーニング師学科試験問題
(衛生法規に関する知識)

沖縄県

問1 次の文章のうち、正しいものには○印を、誤っているものには×印を（ ）
に記入しなさい。

- 1 () 洗濯物の受取及び引渡しをすることを営業としようとする者は、必ずクリーニング所を開設しなければならない。
- 2 () クリーニング師とは、クリーニング師試験に合格した者をいう。
- 3 () シミのついた汚れた衣類は、他の洗濯物と区別しておき、洗たく前に消毒しておかなければならない。
- 4 () 使用済みのリネン類を、定期的に回収・洗濯仕上げをして納品する、いわゆるリネンサプライサービスはクリーニング業に該当しない。
- 5 () クリーニング所の開設届を提出した営業者は、提出した日の翌日からクリーニング所を使用することができる。
- 6 () クリーニング所の立入検査をする都道府県の職員を環境衛生監視員という。
- 7 () 着物の洗い張りはクリーニング業に該当しない。
- 8 () 全てのクリーニング所には必ず、クリーニング師を置かなければならない。

問2 次のクリーニング業法及びクリーニング業法施行規則の記述中の（ ）
の中から正しいものを一つ選び、その記号を○で囲みなさい。

- 1 この法律は、クリーニング業に対して、（ ア．公衆衛生 イ．環境衛生 ）
等の見地から必要な指導及び取締りを行い、もってその経営を公共の福祉に適合
させるとともに、利用者の利益の擁護を図ることを目的とする。
- 2 クリーニング師が免許証を破り、汚し、又は失ったときは、その旨を書き、
破り、又は汚した場合においてはその免許証を添え、（ ア．1月以内 イ．6
月以内 ）に免許を与えた（ ア．厚生労働大臣 イ．都道府県知事 ）に再交
付の申請をしなければならない。
- 3 営業者は、洗濯物の受取及び引渡しをしようとするときは、
（ ア．求めに応じて イ．あらかじめ ）、利用者に対し、
洗濯物の（ ア．処理方法 イ．料金 ）等について説明するように努めなけ
ればならない。

問3 次の文は、クリーニング業法に関するものである。文中の（ ）に当
てはまる適切な語句を下記の語群から選び、その記号を記入しなさい。

- 1 洗場については、床が、（ ）で築造され、これに適当な勾配と排水
口が設けられていること。
- 2 営業者は、洗濯物の受取及び引渡しをするに際しては、（ ）で定め
るところにより、利用者に対し、苦情の申出先を明示しなければならない。
- 3 営業者は、洗たく物の洗たくをするクリーニング所に、業務用の機械として、
洗たく機及び（ ）をそれぞれ少くとも一台備えなければならない。
- 4 都道府県知事は、営業者又はその使用人で、洗濯物の処理又は受取及び引渡
しの業務に従事するものが伝染性の疾病にかかり、その就業が公衆衛生上不適
当と認めるときは、期間を定めてその業務を（ ）することができる。

【語 群】

ア．不浸透性材料 イ．乾燥機 ウ．都道府県条例 エ．アイロン
オ．禁止 カ．厚生労働省令 キ．耐水性材料 ク．停止 ケ．脱水機

問4 次の洗濯物のうち、クリーニング業法施行規則に規定する「消毒を要する洗濯物」に該当するものには○印を、該当しないものには×印を（ ）に記入しなさい。ただし、いずれも営業者に引き渡される前に消毒されていない洗濯物とする。

- 1 () おむつ、パンツその他これらに類するもの
- 2 () ホテルで宿泊者が使用したシーツ
- 3 () 病院において療養のために使用された寝具
- 4 () 手ぬぐい、タオルその他これらに類するもの

問5 次の文は、クリーニング師に関する記述である。文中の（ ）に当てはまる最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号を記入しなさい。

- 1 クリーニング師は、その本籍又は氏名を変更したときは、（ ）以内に免許証の訂正の申請を免許を与えた都道府県知事にしなければならない。
- 1 クリーニング業法第12条の規程により免許の取消処分を受けた者は、（ ）以内に免許証を免許を与えた都道府県知事に返納しなければならない。
- 3 クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、業務に従事した後、（ ）以内に都道府県知事が指定したクリーニング師の資質の向上を図る為の研修を受けなければならない。
また、その後は、（ ）を超えない期間ごとに研修を受けるものとする。

【語群】

ア. 3日	イ. 5日	ウ. 10日	エ. 1月	オ. 3月
カ. 1年	キ. 3年	ク. 5年		

採点

令和元年度クリーニング師学科試験問題
(公衆衛生に関する知識)

沖縄県

問1 次の文の中に、下記の語群から正しいものを選び、その記号を記入しなさい。

公衆衛生は、() と対比されるように、主として社会を集団としてとらえ、疾病の予防や() を図ることを目的としています。とりわけ、衛生法規で規制が行われている法律では、() が大きな目標となっています。

() の進展が著しくなり、人の移動も航空網の発達により極めて短期間で交流が行われているだけに、いったん感染症が発生するとその感染は() に、しかも多くの地域に広がる時代となっています。それを防止するためには、社会全体としての取り組みが必要となります。

【語群】

ア. 国際化 イ. 情報化 ウ. 急速 エ. 穏やか オ. 健康増進
カ. 個人衛生 キ. 感染症対策 ク. 疾病対策

問2 次の文章のうち正しいものには○印を、誤っているものには×印を() の中に記入しなさい。

- () 消毒とは、全ての微生物を殺し、完全に無菌状態にすることである。
- () 健康保菌者とは、病原菌に感染しても症状をあらわさず、保菌状態を示す者である。
- () 熱湯による消毒とは、80℃以上の熱湯に10分以上浸すことである。
- () 70%に薄めたアルコール液は、95%のアルコール液よりも消毒力が弱い。
- () 貸しおしぼりには、衛生基準があり、変色、異臭がないことその他、大腸菌群、黄色ブドウ球菌、一般細菌数が定められている。
- () 黄色ブドウ球菌は、菌が増殖するときに毒素(エントロトキシン)を産出し、この毒素は、通常の加熱では失活しない。
- () 逆性石けんは、洗浄力は弱い、殺菌力が強い。
- () 紫外線による消毒は、照射された面及び深層にも効果がある。
- () 中性洗剤は、洗浄力・殺菌力とも優れている。
- () セレウス菌の消毒方法としては、75℃で1分間の加熱が有効である。

問3 次のA群の事項に最も関係のあるものをB群から選び線で結びなさい。

A群		B群
麻疹	・	・ アスベスト
PM2.5	・	・ 細菌
BSE	・	・ 大気汚染
中皮腫	・	・ プリオン
結核	・	・ ウイルス

問4 次の文中の（ ）の中から正しいものを一つ選び、その記号を○で囲みなさい。

- 1 廃棄物の処理及び清掃に関する法律では、一般廃棄物の処理は、（ア．国 イ．県 ウ．市町村 エ．事業者）の責務、産業廃棄物は、（ア．国 イ．県 ウ．市町村 エ．事業者）の責務としている。
- 2 （ア．テトラクロロエチレン イ．石油系溶剤 ウ．エタン）は水質汚濁防止法で有害物質に指定され、排水1リットルあたり（ア． $0.1\mu\text{g}$ イ． 0.1mg ウ． 0.01mg ）の排水基準が設定されている。
- 3 BODは生物学的酸素要求量のことをいい、CODとは、（ア．化学的 イ．統計的 ウ．数学的）酸素要求量のことをいう。

採 点

令和元年度クリーニング師学科試験問題
(洗濯物の処理に関する知識)

沖縄県

問1 次の文のうち正しいものには○印を、誤っているものには×印を()の中に記入しなさい。

- 1 () クリーニングは、品物に応じた最適の湿気、熱、時間で仕上げるため、これらの3つを「仕上げの3条件」という。
- 2 () 洗濯物の点検は品物を預かったときに顧客の前で行い、修理や補修・特別なシミ抜きを行う必要がある場合には、その料金を顧客に示し、了解を得ることが必要である。
- 3 () カルシウムやマグネシウムなどの硬度成分が多い方が、洗濯用水として望ましい。
- 4 () アセテート・プロミックスは半合成素材である。
- 5 () シミ抜きの処理は、油性→水溶性→不溶性の順序で行う。
- 6 () 綿は、発色が鮮やかで、しなやかさと吸湿性に優れ、繊維の中の最高級品である。
- 7 () ウェットクリーニングは、ドライクリーニングのみによる場合より洗濯物の収縮や風合い変化が少ない。
- 8 () ポリアミド樹脂でできたナイロンボタンは、強度がなく割れやすいが、耐熱性がある。

問2 次の表は、繊維素材の標準的仕上温度である。(1)から(5)に当てはまる繊維を下記の語群から選び、その記号を表中に記入しなさい。

繊維名	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
アイロン温度	180～200	150～160	140～150	60～70	不可

(単位：℃)

[語群]

ア. 絹 イ. レーヨン ウ. ナイロン エ. 毛 オ. 綿・麻
カ. ポリエステル キ. ポリウレタン ク. ポリ塩化ビニル

問3 次の1～6は、平成28年12月から施行されている JIS L 0001による表示記号である。各表示記号の意味として正しいものを下記の選択肢から選び、()にその記号を記入しなさい。

1



()

2



()

3



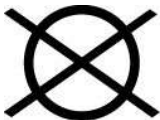
()

4



()

5



()

6



()

[選択肢]

- ア. 家庭での洗濯禁止 イ. 石油系溶剤による弱いドラクリーニングができる
ウ. 酸素系漂白剤の使用はできるが、塩素系漂白剤の使用禁止 エ. タンブル乾燥禁止
オ. 液温は40℃を限度とし、手洗いができる カ. ウェットクリーニング禁止
キ. ドライクリーニング禁止 ク. ぬれ平干しがよい ケ. ぬれつり干しがよい
コ. 日陰のぬれ平干しがよい サ. 日陰のぬれつり干しがよい

問4 次の文中の（ ）の中から正しいものを1つ選び、その記号を○で囲みなさい。

- 1 溶解性から分類するとたんぱく質やデンプンは、
（ ア．水溶性汚れ イ．油性汚れ ウ．不溶性汚れ ）である。
- 2 チャージシステムは（ ア．ドライクリーニング イ．ウエットクリーニング ）
システムである。
- 2 毛皮は、コーンパウダーなどの粉末に、毛皮用洗剤と
（ ア．糊剤 イ．石油系溶剤 ウ．加脂栄養剤 ）を含ませてタンブルし、汚れを
パウダーに吸着させて洗う、パウダークリーニングを行う。
- 3 毛皮の保管温度は（ ア．10～15℃ イ．15～20℃ ウ．20～25℃ ）、
湿度（ ア．25～30% イ．35～40% ウ．45～50% ）が最適である。
- 4 ランドリーでは、
（ ア．過炭酸ナトリウム イ．メタ珪酸ナトリウム ウ．次亜塩素酸ナトリウム ）
アルカリ助剤として洗剤と併用される。

採 点

令和 元 年度

クリーニング師学科試験問題

受 験 番 号	
------------	--

指示があるまで開いてはいけません

—— 注 意 事 項 ——

- 1 この問題用紙には、衛生法規に関する知識、公衆衛生に関する知識、洗濯物の処理に関する知識の3科目の問題がとじ込んであります。3科目の試験時間は1時間30分です。
- 2 問題用紙は切り離さないで下さい。
- 3 答は問題用紙に明瞭に記入して下さい。
- 4 試験中は他の受験者に迷惑を及ぼす行為（話しかける、席を外す等）をしないこと。
- 5 試験中は受験票を試験官の見やすい場所に置くこと。
- 6 答案を早めに提出した者は、他の受験者の迷惑にならないように試験場外にでること。
- 7 質問があるとき、また退出するときは、手をあげて試験官の来るのを待つこと。
- 8 試験開始後30分間は退場を認めないので注意すること。
- 9 一度退場したら再入場を認めないので注意すること。

沖 縄 県

令和元年度クリーニング師学科試験問題
(衛生法規に関する知識)

沖縄県

問1 次の文章のうち、正しいものには○印を、誤っているものには×印を()
に記入しなさい。 (3点×8問=24点)

- 1 (×) 洗濯物の受取及び引渡しをすることを営業としようとする者は、必ずクリーニング所を開設しなければならない。
- 2 (×) クリーニング師とは、クリーニング師試験に合格した者をいう。
- 3 (×) シミのついた汚れた衣類は、他の洗濯物と区別しておき、洗たく前に消毒しておかなければならない。
- 4 (×) 使用済みのリネン類を、定期的に回収・洗濯仕上げをして納品する、いわゆるリネンサプライサービスはクリーニング業に該当しない。
- 5 (×) クリーニング所の開設届を提出した営業者は、提出した日の翌日からクリーニング所を使用することができる。
- 6 (○) クリーニング所の立入検査をする都道府県の職員を環境衛生監視員という。
- 7 (○) 着物の洗い張りはクリーニング業に該当しない。
- 8 (×) 全てのクリーニング所には必ず、クリーニング師を置かなければならない。

問2 次のクリーニング業法及びクリーニング業法施行規則の記述中の（ ）
の中から正しいものを一つ選び、その記号を○で囲みなさい。

(4点×5問=20点)

- 1 この法律は、クリーニング業に対して、(**ア** . 公衆衛生 イ . 環境衛生)
等の見地から必要な指導及び取締りを行い、もってその経営を公共の福祉に適合
させるとともに、利用者の利益の擁護を図ることを目的とする。
- 2 クリーニング師が免許証を破り、汚し、又は失ったときは、その旨を書き、
破り、又は汚した場合においてはその免許証を添え、(**ア** . 1月以内 イ . 6
月以内) に免許を与えた (**ア** . 厚生労働大臣 **イ** . 都道府県知事) に再交
付の申請をしなければならない。
- 3 営業者は、洗濯物の受取及び引渡しをしようとするときは、
(**ア** . 求めに応じて **イ** . あらかじめ)、利用者に対し、
洗濯物の (**ア** . 処理方法 イ . 料金) 等について説明するように努めなけ
ればならない。

問3 次の文は、クリーニング業法に関するものである。文中の（ ）に当
てはまる適切な語句を下記の語群から選び、その記号を記入しなさい。

(4点×4問=16点)

- 1 洗場については、床が、(**ア**) で築造され、これに適当な勾配と排水
口が設けられていること。
- 2 営業者は、洗濯物の受取及び引渡しをするに際しては、(**カ**) で定め
るところにより、利用者に対し、苦情の申出先を明示しなければならない。
- 3 営業者は、洗たく物の洗たくをするクリーニング所に、業務用の機械として、
洗たく機及び (**ケ**) をそれぞれ少なくとも一台備えなければならない。
- 4 都道府県知事は、営業者又はその使用人で、洗濯物の処理又は受取及び引渡
しの業務に従事するものが伝染性の疾病にかかり、その就業が公衆衛生上不適
当と認めるときは、期間を定めてその業務を (**ク**) することができる。

【語群】

ア. 不浸透性材料 イ. 乾燥機 ウ. 都道府県条例 エ. アイロン
オ. 禁止 カ. 厚生労働省令 キ. 耐水性材料 ク. 停止 ケ. 脱水機

問4 次の洗濯物のうち、クリーニング業法施行規則に規定する「消毒を要する洗濯物」に該当するものには○印を、該当しないものには×印を（ ）に記入しなさい。ただし、いずれも営業者に引き渡される前に消毒されていない洗濯物とする。 (5点×4問=20点)

- 1 (○) おむつ、パンツその他これらに類するもの
- 2 (×) ホテルで宿泊者が使用したシーツ
- 3 (○) 病院において療養のために使用された寝具
- 4 (○) 手ぬぐい、タオルその他これらに類するもの

問5 次の文は、クリーニング師に関する記述である。文中の（ ）に当てはまる最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号を記入しなさい。 (5点×4問=20点)

- 1 クリーニング師は、その本籍又は氏名を変更したときは、(ウ) 以内に免許証の訂正の申請を免許を与えた都道府県知事にしなければならない。
- 1 クリーニング業法第12条の規程により免許の取消処分を受けた者は、(イ) 以内に免許証を免許を与えた都道府県知事に返納しなければならない。
- 3 クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、業務に従事した後、(カ) 以内に都道府県知事が指定したクリーニング師の資質の向上を図る為の研修を受けなければならない。
また、その後は、(キ) を超えない期間ごとに研修を受けるものとする。

【語群】				
ア. 3日	イ. 5日	ウ. 10日	エ. 1月	オ. 3月
カ. 1年	キ. 3年	ク. 5年		

採 点

令和元年度クリーニング師学科試験問題
(公衆衛生に関する知識)

沖縄県

問1 次の文の中に、下記の語群から正しいものを選び、その記号を記入しなさい。
(4点×5問=20点)

公衆衛生は、(**カ**) と対比されるように、主として社会を集団としてとらえ、疾病の予防や(**オ**) を図ることを目的としています。とりわけ、衛生法規で規制が行われている法律では、(**キ**) が大きな目標となっています。

(**ア**) の進展が著しくなり、人の移動も航空網の発達により極めて短期間で交流が行われているだけに、いったん感染症が発生するとその感染は(**ウ**) に、しかも多くの地域に広がる時代となっています。それを防止するためには、社会全体としての取り組みが必要となります。

【語群】

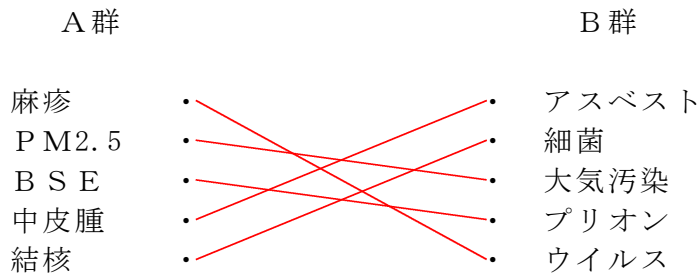
ア. 国際化 イ. 情報化 ウ. 急速 エ. 穏やか オ. 健康増進
カ. 個人衛生 キ. 感染症対策 ク. 疾病対策

問2 次の文章のうち正しいものには○印を、誤っているものには×印を() の中に記入しなさい。
(4点×10問=40点)

- 1 (**×**) 消毒とは、全ての微生物を殺し、完全に無菌状態にすることである。
- 2 (**○**) 健康保菌者とは、病原菌に感染しても症状をあらわさず、保菌状態を示す者である。
- 3 (**○**) 熱湯による消毒とは、80℃以上の熱湯に10分間以上浸すことである。
- 4 (**×**) 70%に薄めたアルコール液は、95%のアルコール液よりも消毒力が弱い。
- 5 (**○**) 貸しおしぼりには、衛生基準があり、変色、異臭がないことその他、大腸菌群、黄色ブドウ球菌、一般細菌数が定められている。
- 6 (**○**) 黄色ブドウ球菌は、菌が増殖するときに毒素(エントロトキシン)を産出し、この毒素は、通常の加熱では失活しない。
- 7 (**○**) 逆性石けんは、洗浄力は弱い、殺菌力が強い。
- 8 (**×**) 紫外線による消毒は、照射された面及び深層にも効果がある。
- 9 (**×**) 中性洗剤は、洗浄力・殺菌力とも優れている。
- 10 (**×**) セレウス菌の消毒方法としては、75℃で1分間の加熱が有効である。

問3 次のA群の事項に最も関係のあるものをB群から選び線で結びなさい。

(4点×5問=20点)



問4 次の文中の()の中から正しいものを一つ選び、その記号を○で囲みなさい。

(4点×5問=20点)

- 1 廃棄物の処理及び清掃に関する法律では、一般廃棄物の処理は、(ア. 国 イ. 県 **ウ.** 市町村 エ. 事業者)の責務、産業廃棄物は、(ア. 国 イ. 県 ウ. 市町村 **エ.** 事業者)の責務としている。
- 2 **ア.** テトラクロロエチレン イ. 石油系溶剤 ウ. エタン)は水質汚濁防止法で有害物質に指定され、排水1リットルあたり(ア. 0.1 μ g **イ.** 0.1mg ウ. 0.01mg)の排水基準が設定されている。
- 3 BODは生物学的酸素要求量のことをいい、CODとは、**ア.** 化学的 イ. 統計的 ウ. 数学的)酸素要求量のことをいう。

採点

令和元年度クリーニング師学科試験問題
(洗濯物の処理に関する知識)

沖縄県

問1 次の文のうち正しいものには○印を、誤っているものには×印を()の中に記入しなさい。
(4点×8問=32点)

- 1 (×) クリーニングは、品物に応じた最適の湿気、熱、時間で仕上げるため、これらの3つを「仕上げの3条件」という。
- 2 (○) 洗濯物の点検は品物を預かったときに顧客の前で行い、修理や補修・特別なシミ抜きを行う必要がある場合には、その料金を顧客に示し、了解を得ることが必要である。
- 3 (×) カルシウムやマグネシウムなどの硬度成分が多い方が、洗濯用水として望ましい。
- 4 (○) アセテート・プロミックスは半合成素材である。
- 5 (○) シミ抜きの処理は、油性→水溶性→不溶性の順序で行う。
- 6 (×) 綿は、発色が鮮やかで、しなやかさと吸湿性に優れ、繊維の中の最高級品である。
- 7 (×) ウェットクリーニングは、ドライクリーニングのみによる場合より洗濯物の収縮や風合い変化が少ない。
- 8 (×) ポリアミド樹脂でできたナイロンボタンは、強度がなく割れやすいが、耐熱性がある。

問2 次の表は、繊維素材の標準的仕上温度である。(1)から(5)に当てはまる繊維を下記の語群から選び、その記号を表中に記入しなさい。
4点×5問=20点

繊維名	(1) オ	(2) エ	(3) イ	(4) キ	(5) ク
アイロン温度	180～200	150～160	140～150	60～70	不可

(単位：℃)

[語群]

ア. 絹 イ. レーヨン ウ. ナイロン エ. 毛 オ. 綿・麻
カ. ポリエステル キ. ポリウレタン ク. ポリ塩化ビニル

問3 次の1～6は、平成28年12月から施行されている JIS L 0001による表示記号である。各表示記号の意味として正しいものを下記の選択肢から選び、() にその記号を記入しなさい。

(4点×6問=24点)

1



(サ)

2



(オ)

3



(ウ)

4



(コ)

5



(キ)

6



(イ)

[選択肢]

- ア. 家庭での洗濯禁止 イ. 石油系溶剤による弱いドラクリーニングができる
ウ. 酸素系漂白剤の使用はできるが、塩素系漂白剤の使用禁止 エ. タンブル乾燥禁止
オ. 液温は40℃を限度とし、手洗いができる カ. ウェットクリーニング禁止
キ. ドライクリーニング禁止 ク. ぬれ平干しがよい ケ. ぬれつり干しがよい
コ. 日陰のぬれ平干しがよい サ. 日陰のぬれつり干しがよい

問4 次の文中の（ ）の中から正しいものを1つ選び、その記号を○で囲みなさい。

(4点×6問=24点)

- 1 溶解性から分類するとたんぱく質やデンプンは、
(ア. 水溶性汚れ イ. 油性汚れ ウ. 不溶性汚れ) である。
- 2 チャージシステムは (ア. ドライクリーニング イ. ウェットクリーニング) システムである。
- 2 毛皮は、コーンパウダーなどの粉末に、毛皮用洗剤と
(ア. 糊剤 イ. 石油系溶剤 ウ. 加脂栄養剤) を含ませてタンブルし、汚れをパウダーに吸着させて洗う、パウダークリーニングを行う。
- 3 毛皮の保管温度は (ア. 10～15℃ イ. 15～20℃ ウ. 20～25℃)、
湿度 (ア. 25～30% イ. 35～40% ウ. 45～50%) が最適である。
- 4 ランドリーでは、
(ア. 過炭酸ナトリウム イ. メタ珪酸ナトリウム ウ. 次亜塩素酸ナトリウム)
アルカリ助剤として洗剤と併用される。

採 点

令和 元 年度

クリーニング師実地試験問題

受 験 番 号	
------------	--

指示があるまで開いてはいけません

—— 注 意 事 項 ——

- 1 この問題用紙には、溶剤管理及び洗濯に関する知識の問題がとじ込んであります。
試験時間は30分です。
- 2 問題用紙は切り離さないで下さい。
- 3 答は問題用紙に明瞭に記入して下さい。
- 4 試験中は他の受験者に迷惑を及ぼす行為（話しかける、席を外す等）をしないこと。
- 5 試験中は受験票を試験官の見やすい場所に置くこと。
- 6 答案を早めに提出した者は、他の受験者の迷惑にならないように試験場外にでること。
- 7 質問があるとき、また退出するときは、手をあげて試験官の来るのを待つこと。
- 8 試験開始後10分間は退場を認めないので注意すること。
- 9 一度退場したら再入場を認めないので注意すること。

沖 縄 県

令和元年度クリーニング師実地試験問題
(溶剤管理及び洗濯に関する知識)

沖縄県

問1 次の文のうち、正しいものには○印を、誤っているものには×印を（ ）の中に記入しなさい。

- 1 () 白い洗濯物に、酸化漂白と還元漂白の両方を使いたいときは、酸化漂白を先に行う。
- 2 () ドライクリーニングで使用する活性炭の目的は、静電気の防止・抑制である。
- 3 () 油汚れの著しいウールのズボンを洗う場合、水洗い後にドライクリーニングを行う。
- 4 () 洗剤の主成分は界面活性剤である。
- 5 () ドライクリーニングの溶液の酸化は低いほどよい。
- 6 () 過酸化水素は絹繊維のシミ抜きには適していない。

問2 次のA群に記載されたシミに対する最も適当なシミ抜き剤をB群から選び、その記号を（ ）に記入しなさい。

[A群]

- 1 鉄さび () 2 ペンキ ()
- 3 付着後、日数を経た血液 () 4 しょう油 ()
- 5 黒インク ()

[B群]

- ア シンナー イ シュウ酸 ウ タンパク質分解酵素
- エ テレピン油 オ 高級アルコール系洗剤 カ ロート油
- キ 石油系ドライ洗剤、石油系溶剤、モノクロロベンゼンを主とした混合物

問3 次の文は、溶剤に関するものである。()に当てはまる最も適切な語句を下記の語群から選び、その記号を記入しなさい。

- 1 ドライ溶剤中に溶け込んだ()の多くは、フィルターのみでは除去することができない。そのため、汚れたドライ溶剤を加熱し、蒸発させ、そのガスを冷却液化し、溶剤を再生する必要がある。この処理を()という。
- 2 溶剤管理とは再汚染防止と()向上のために、ドライ溶剤を浄化し、()を適正に維持することをいう。
- 3 洗濯物の処理に使用するクリーニング溶剤の取扱い上、特に考慮すべき危険性としては、()を導く引火・発火性、()に結びつく有害・有毒性、環境破壊につながる公害性がある。

【語群】

- ア. 蒸化 イ. 水溶性汚れ ウ. 洗浄力 エ. 通気性
オ. 蒸留 カ. 火災・爆発 キ. 化学やけど(皮膚障害)
ク. 油溶性汚れ ケ. ソープ濃度 コ. 中毒、職業病

問4 次の文は、ランドリー用助剤に関するものである。()に当てはまる最も適切な語句を下記の語群から選び、その記号を記入しなさい。

- 1 CMC(カルボキシ・メチル・セルロース)はパルプを原料として作られた粉末状の()高分子物質で、再汚染防止効果が優れ、洗濯物の()が向上する。
- 2 ソフターは、自己乳化型の()界面活性剤が成分で、これが繊維に吸着して()効果を発揮し、繊維間を平滑にし衣服を柔らかくふっくらした感触に仕上げる。

【語群】

- ア. 酸性 イ. 水溶性 ウ. 中性 エ. アルカリ性 オ. 油溶性 カ. 白さ
キ. カチオン ク. アニオン ケ. 吸着 コ. 加脂 サ. 柔らかさ

採 点

令和 元 年度

クリーニング師実地試験問題

受 験 番 号	
------------	--

指示があるまで開いてはいけません

—— 注 意 事 項 ——

- 1 この問題用紙には、溶剤管理及び洗濯に関する知識の問題がとじ込んであります。試験時間は30分です。
- 2 問題用紙は切り離さないで下さい。
- 3 答は問題用紙に明瞭に記入して下さい。
- 4 試験中は他の受験者に迷惑を及ぼす行為（話しかける、席を外す等）をしないこと。
- 5 試験中は受験票を試験官の見やすい場所に置くこと。
- 6 答案を早めに提出した者は、他の受験者の迷惑にならないように試験場外にでること。
- 7 質問があるとき、また退出するときは、手をあげて試験官の来るのを待つこと。
- 8 試験開始後10分間は退場を認めないので注意すること。
- 9 一度退場したら再入場を認めないので注意すること。

沖 縄 県

令和元年度クリーニング師実地試験問題
(溶剤管理及び洗濯に関する知識)

沖縄県

問1 次の文のうち、正しいものには○印を、誤っているものには×印を()の中に記入しなさい。
(1点×6問=6点)

- 1 (○) 白い洗濯物に、酸化漂白と還元漂白の両方を使いたいときは、酸化漂白を先に行う。
- 2 (×) ドライクリーニングで使用する活性炭の目的は、静電気の防止・抑制である。
- 3 (×) 油汚れの著しいウールのズボンを洗う場合、水洗い後にドライクリーニングを行う。
- 4 (○) 洗剤の主成分は界面活性剤である。
- 5 (○) ドライクリーニングの溶液の酸化は低いほどよい。
- 6 (×) 過酸化水素は絹繊維のシミ抜きには適していない。

問2 次のA群に記載されたシミに対する最も適当なシミ抜き剤をB群から選び、その記号を()に記入しなさい。
(2点×5問=10点)

[A群]

- 1 鉄さび (イ) 2 ペンキ (エ)
- 3 付着後、日数を経た血液 (ウ) 4 しょう油 (オ)
- 5 黒インク (カ)

[B群]

- ア シンナー イ シュウ酸 ウ タンパク質分解酵素
- エ テレピン油 オ 高級アルコール系洗剤 カ ロート油
- キ 石油系ドライ洗剤、石油系溶剤、モノクロロベンゼンを主とした混合物

問3 次の文は、溶剤に関するものである。()に当てはまる最も適切な語句を下記の語群から選び、その記号を記入しなさい。(1点×6問=6点)

- 1 ドライ溶剤中に溶け込んだ(ク)の多くは、フィルターのみでは除去することができない。そのため、汚れたドライ溶剤を加熱し、蒸発させ、そのガスを冷却液化し、溶剤を再生する必要がある。この処理を(オ)という。
- 2 溶剤管理とは再汚染防止と(ウ)向上のために、ドライ溶剤を浄化し、(ケ)を適正に維持することをいう。
- 3 洗濯物の処理に使用するクリーニング溶剤の取扱い上、特に考慮すべき危険性としては、(カ)を導く引火・発火性、(コ)に結びつく有害・有毒性、環境破壊につながる公害性がある。

【語群】

- ア. 蒸化 イ. 水溶性汚れ ウ. 洗浄力 エ. 通気性
オ. 蒸留 カ. 火災・爆発 キ. 化学やけど(皮膚障害)
ク. 油溶性汚れ ケ. ソープ濃度 コ. 中毒、職業病

問4 次の文は、ランドリー用助剤に関するものである。()に当てはまる最も適切な語句を下記の語群から選び、その記号を記入しなさい。(2点×4問=8点)

- 1 CMC(カルボキシ・メチル・セルロース)はパルプを原料として作られた粉末状の(イ)高分子物質で、再汚染防止効果が優れ、洗濯物の(カ)が向上する。
- 2 ソフターは、自己乳化型の(キ)界面活性剤が成分で、これが繊維に吸着して(コ)効果を発揮し、繊維間を平滑にし衣服を柔らかくふっくらした感触に仕上げる。

【語群】

- ア. 酸性 イ. 水溶性 ウ. 中性 エ. アルカリ性 オ. 油溶性 カ. 白さ
キ. カチオン ク. アニオン ケ. 吸着 コ. 加脂 サ. 柔らかさ

採 点